

【平成23年1月第1回臨時会】

あけましておめでとうございます。

平成23年市川三郷町議会第1回臨時会の開会にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

まずはじめに、職員による道路交通法違反につきまして、お詫びと報告を申し上げます。

この職員は、2002年平成14年に持病による目の視力低下により、免許更新ができず、失効のまま現在に至っていました。先週の1月13日、午後2時25分ころ、公用車を運転し、大塚の農道をシートベルト未着用で走行、取り締まり中の署員に免許証の提示を求められ、無免許が発覚し、摘発されました。

無免許運転は重大な違反であり、職員の処分につきましては、職員分限懲戒諮問会議等をもって決定をいたします。

このたびのことは、町政と公務員である職員への信頼を大きく損ねたことに、議会ならび町民の皆さまに深くお詫びを申し上げますとともに、再発防止に万全を期します。

誠に申し訳ございません。

今年の正月は、穏やかで暖かな三が日でありましたけれども、議員各位におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい初春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年日本経済は、円高、デフレ、雇用不安など、内憂外患、極めて厳しい1年でありました。

東京法令出版、牧瀬稔著「選ばれる自治体の条件」では、住民は自分の選考を満たしてくれる自治体に住むことを望むが、満たしてくれない自治体からは離れていくと述べております。住民の行政に対する満足度を財政の健全化を図りつつ、いかに高められるかにあり、多様性と創造性に溢れた豊かな自治を実現することにあります。

昨年12月21日、山梨県は2010年、平成22年の国勢調査の修正結果の速報値を発表しております。5年前、2005年、平成17年の国勢調査との推移も併せて報道されましたが、2005年平成17年比で人口増減は、市川三郷町マイナス826人、率でマイナス4.6%、富士川町マイナス1,150人、率でマイナス6.6%、身延町マイナス1,874人、率でマイナス11.5%、南部町マイナス1,242人、率で12.1%マイナス、早川町マイナス287人、率でマイナス18.7%であり、市川三郷町は、峡南5町でこの5年間、人口減少率はもっとも低くなっております。

また、世帯数の増減では、市川三郷町は率でプラス0.3%、富士川町は率でマイナス2.7%、身延町は率でマイナス5.8%、南部町は率でマイナス3.6%、早川町は率でマイナス10.7%であり、市川三郷町はわずかですが増えております。

市川三郷町の誕生から満5年、数字上からも財政の健全化、教育、福祉、医療等、重要施策の推進の成果がうかがえるかと思っております。

職員への年頭の訓示では、自治体の行政力の優劣は、職員の力量によって、大きな差が

生じること、また仕事のための仕事ではなく、全体の奉仕者として、町民の皆さまのために、働く生きがいをもって臨むよう、訓示をいたしました。

本議会にご提案申し上げます案件は、専決処分の承認を求めることについてなど、併せて3案件であります。十分にご審議をいただき、ご承認、ご議決いただけますよう、お願いを申し上げ、あいさついたします。

それでは、提案理由の説明を申し上げます。

(以下省略)